

センターだより



令和3年12月1日

編集・発行 東京都立心身障害者口腔保健センター(指定管理者:公益社団法人東京都歯科医師会) 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 8F·9F 電話 03-3235-1141 (代表) / 03-3267-6480 (予約・診療)

患者さんの



をお届けします /



当センターでは、患者サービスの向上を図り、より良い障害者歯科医療の提供を目的に、 年1回「来院時アンケート」を実施しています。

このアンケートは、来所した患者さん又は保護者や介助者等を対象に満足度を調査して います。今回は、この「来院時アンケート」に寄せられたご意見を、「患者さんの『声』」と してお伝えし、あわせて当センターの対応をご紹介します。

家の近くに 通いたい

最初のうちは診療台に座らず横になることもできませんでしたが、時間 をかけてだんだんと診療できるようになり、今では診療台に横になりク リーニングができるようになりました。しかし、センターは自宅から遠 いので、自宅近くで診て頂ける歯科医院があればありがたいです。

障害のある方は、はじめての事や場所に慣れるのに時間がかかることが多くありますが、歯科受診 に慣れるにつれて、家族が通院する一般歯科診療所など、「自宅近くの診療所に行ってみたい」、とい うニーズが出るケースも多くあります。寄せられた意見の中でも、そのような声が多く、障害のある 方の地域受診のニーズが高いことが分かりました。

当センターは、スペシャルニーズのある方が住み慣れた身近な場所で、安心して歯科診療が受けら れることを目指して、地区口腔保健センターや地域歯科医院との連携を図っています。

障害を理解して もらえるか不安…

今後、自宅近くの歯科医院に受診することを考えています。 ただ、本人にこだわりがあるので、周りの方に迷惑をかけるので はという心配や、歯科医院の先生に障害を理解してもらえるか不 安な気持ちがあります。

地域歯科診療所への受診を希望する一方で、「障害を理解してもらえるか不安」という意見もとても 多く寄せられました。

当センターは、口腔健康管理を必要とする障害のある人が、 身近な地域の歯科医療機関を受診できるようにするため、患者 さんと地域医療とを結ぶ役割を担っています。そして、地域の 歯科医療機関で障害のある方を受け入れていただき、障害のあ る方が住み慣れた身近な場所で安心して歯科医療が受けられる ように、「協力医・登録医制度 | を設けています。現在当セン ターの協力医*1は129名、登録医*2は159名で、計288名の 先生方に各地で障害のある患者さんを受け入れていただいてい ます。



今後も当センターでは医療連携の強化に努めてまいります。

※1 当センターの教育研修事業の中で、障害者歯科に携わる歯科医師を養成する個別研修会基礎コースとアドバンスコースを修了した歯科医師 ※2 障害者歯科に理解があり本制度へ登録した歯科医師

泣き声や大きな音が苦手…

子どもの泣き声や大きな音が苦手なので 落ち着いた環境で受診できると助かります。__

患者さんの中には聴覚過敏のある方や、子供の泣き声が苦手な方がいます。そうした患者さんの特 性を理解し、環境の整備を行います。例えば、個室やパーテーションで周囲の刺激を最小限にする、 混雑しない時間帯を予約する、普段から着用しているイヤーマフを付けたまま診療をするなどです。 このようにして、患者さんにとって快適な受診環境になるよう工夫しています。

手話のできる方が増えてほしい! 手話のできる人が増えてもっとコミュ ニケーションが取れると嬉しいです。___



手話研修会の様子(2019 年撮影)

当センターでは手話のできるスタッフがいます。また、教育研修 事業の一環として「歯科医療従事者向け手話研修会」を開催してい ます。この研修会では、歯科領域に関する専門性の高い手話表現、 実際に臨床場面で使える表現等を学ぶことができ、聴覚障害者への 理解を深め、安心して歯科受診できる環境を整えることを目指して います。ろう講師と手話通訳を講師に招き、今年度は 10 月に計 3 回の手話研修会を開催しました。受講料は無料です。詳しくは当セ ンターホームページをご覧ください。

見通しがもてないと うちの子供は、何をされるのが元曜しかしてもまっこともあっています。診療中にパニックを起こしてしまうこともあった。 たいけたして見通 パニックを起こす・・・ るので、治療内容をはじめに本人に伝え、声かけをして見通 しを立ててくれると、安心して治療が受けられます。

歯科治療に慣れていない患者さんは特に、次に何をされるのか、どんな器具が出てくるのか、未 知のもの、先の見通しが立たないものに対して不安があります。不安からくるパニックを回避する ために「見通しを立てる」ことが有効です。実際には、「何を」「どんな順番で」「どのくらいした ら終わるのか」事前に伝えておくことで、処置に対する心構えができ、診療に対する協力性の向上 がみられることがあります。



絵カード使用例



スケジュールを用いた事前説明の様子

診療前に、その日に予定している一連の手 順の絵カードを見せながら説明し、見通し を持たせます (スケジュール)。言葉による説 明よりも視覚的な情報の方が伝わりやすい発達 障害のある方に対して、その方の理解を助け、 本来の力を引き出すことができる有効な手段の 1 つです。

障害者歯科 甚礎を学ぶ

障害者歯科個別研修

地域で歯科医療に従事している歯科医師や 歯科衛生士が障害者歯科医療を理解し かかりつけ歯科になるための研修

(基礎コース): 障害者歯科に興味をもたれた方に、障害についての考え方、 疾患特性等を知っていただくための入門コース 3日間(講義2日・半日臨床見学)

〔アドバンスコース〕: 理解を深めるために臨床実習として診療経験をする研修 6 日間 (講義1日・相互実習1日・臨床実習4日) ※基礎コース修了者対象

〔フォローアップコース〕: さらにスキルアップを目指したい方向けのコース 研修生の希望で日程調整 (時間単位も可) ※アドバンスコース修了者対象

歯科医療従事者向け 手話研修会

ろう講師と手話通訳による、3日間のコースで 聴覚障害に関する基本的な講義から 歯科診療に必要な専門的な手話表現を学びます 第1回「基礎編」 第2回「受付編」 第3回「診療編」



障害のある人の口腔健康医療の普及啓発を目的に、様々な研修会の開催、 媒体での情報発信をしています。詳しくはホームページをご覧ください。









東京都立心身障害者口腔保健センタ